

チームは、患者を疼痛から守りながら、麻酔薬の投与による有害事象を防ぐことが分かっている方法を用いる

### 麻酔前のチェックと準備

麻酔器と薬剤のチェックはすんでいる？

はい

パルスオキシメータは患者に装着され、作動している？

はい

### 安全な麻酔

- 訓練を受けた麻酔専門医の存在
- 麻酔器と医薬品の安全チェック
- パルスオキシメーター
- 心拍監視
- 血圧監視
- 体温監視

### パルスオキシメーター



### 人工呼吸管理モニター



### 血圧・カプノグラフィ



### 麻酔深度

- 臨床的観察
- BISモニター
- エントロピーモジュール
- AEPモニター

術中覚醒と過剰投与の問題



### BISモニター



### TOFモニター



### 心電図



### 麻酔濃度




静脈麻酔なら予測血中濃度、予測対象臓器濃度

### 除細動器





患者リスク因子 (○で読み取れる)	チェック項目	現状と機能
ASA 1 2 3 4 5 6 E	<b>気道 (Airway-A)</b> マウス 気道 咽喉鏡(作動する) 気管チューブ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
20日以内の気腫? なし 50mg/L以上の血糖? なし	<b>呼吸 (Breathing-B)</b> リーク (0.002L分の新鮮ガス消費で 20min以上の時間を確保できる) ゾーダライム他、もしあれば 麻酔回路 (コバタケAST) 麻酔用ベンチレーター	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
気道 (マランバチ分類)  クラス1 クラス2 クラス3 クラス4	<b>吸引 (suChim-C)</b>	<input type="checkbox"/>
①ペーパードライブ駆動 ②シリコーン?	<b>薬剤とデバイス (Drug &amp; Device-D)</b> 気化器 (備タンで固定されている) 点滴路 (静脈内で漏れはない) 薬剤 (ラベルが付けられている) シリンジポンプ (完全静脈麻酔薬が2種類接続されている) 血液と輸液剤は利用可能 モニター;アラーム設定 加湿器、加温器と体温計	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
異常な検査値?	緊急事態 (Emergency-E) 応援 アドレナリン アンビューバック 傾斜できる手術台 ファースト・トラック LMA	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
常用薬?		
併存疾患?		



## 薬剤トレイ、ラベリング



- 色違いのシールを各種作成してシリンジに添付
- 薬剤名、濃度、使用期限を記載することが望ましい(六日町では薬剤名のみ、濃度は約束ごと・SOPとなっている)

## アドレナリン



- ショック(アナフィラキシー)には第一選択
- アドレナリンを常に20倍に希釈して使用できる準備

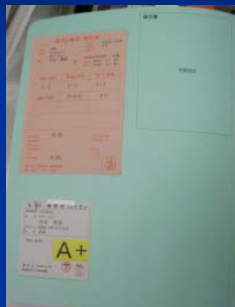
### 薬剤とデバイス (Drug & Device-D)

- 気化器 (備タンで固定されている)
- 点滴路 (静脈内で漏れはない)
- 薬剤 (ラベルが付けられている)
- シリンジポンプ
- (完全静脈麻酔薬が2種類接続されている)
- 血液と輸液剤は利用可能
- モニター;アラーム設定
- 加湿器、加温器と体温計

### 緊急事態 (Emergency-E)

- 応援
- アドレナリン
- アンビューバック
- 傾斜できる手術台
- ファースト・トラック LMA

## 情報の一元化



- 血液型、薬剤アレルギー、禁忌薬、注意薬を一元的に記載
- (六日町病院では外来カルテの裏に統一して記載している)